

平成28年度

運営に関する計画

大阪市立十三小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査においては、算数Aや理科の結果にはやや課題が残ったが、その他は全国平均を上回るよい成績を上げた。無回答率は全国平均より低く、大阪市と比較すると約半分である。学習理解度調査における通過率については、教科平均・学年平均共に 80 %以上を達成することができた。しかし、基礎的・基本的な内容の理解が十分でない児童や、一定の理解はできているものの、発展的な内容の理解は難しい児童がいるなど、学力の二極化がみられる。また、家庭で復習する児童は 80 %を超えるようになってきてはいるが、学習内容の定着に課題のある児童もいる。読書をする習慣は 60 %を切っており、十分には定着していない。
今後、話し合い活動や発表などを積極的に取り入れて、児童主体の授業形態を重視するとともに、「わかる」「できる」授業の創造に努める。
- 97 %の児童は朝ごはんを食べているが、早寝、早起きができる児童の割合は 65 %であり、睡眠不足や、長時間のテレビ、ゲーム、携帯電話、パソコン等の使用など、健康面で課題がある。給食後の歯磨きについては、できている児童が 90 %に達するようになり定着してきている。
また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、男女共に握力と反復横とびでよい結果が出ており男子は全国平均を超えており、女子は多くの種目で課題が残っている。
今後、持久力を高める運動を中心にして、運動の日常化、強調週間等特化した取組、体育学習時の工夫等を通して、体力が高まるように計画していきたい。そして、運動に親しみ運動を楽しむ児童を育成していきたい。
- なかよし班活動や異学年交流等を通して、児童間で温かい人間関係が築けるようになってきている。友だちにやさしく親切に接していると答える児童も 81 %になった。今後も、日々の学校生活や各教科・道徳・特別活動などを通して、自分の気持ちを相手に伝え、相手の立場も理解できる児童の育成をめざしていく。また、これまでの課題であった自分のよさに気付く児童が 77 %になり、自尊感情の高まりがうかがえるようになってきた。一方、学校のきまりを守っている児童の割合は 82 %にとどまった。
今後は、児童にきまりの内容をしっかりと認識させ、きまりを守る態度を育てていくために、児童の実態をしっかりと捉えてさらに指導の徹底を図っていきたい。
- 家庭・地域との連携の推進については、年度当初に年間計画を周知することで、目標以上の参加を得ることができた。学校ホームページへのアクセス数も大幅に伸び、学校教育活動に対しての関心に高まりと広がりが見られるようになってきた。
今後、さらに学校からの情報発信に努め、地域・家庭に理解と協力・支援を求めていく。本年度は創立 90 周年の年になるので、これを契機として、学校教育への関心をさらに高めることができるようしていきたい。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 平成28年度、全国学力・学習状況調査において無回答率の児童を10%以内にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、各単元テストの正答率を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、学校アンケートで「あなたは学校の復習をしていますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連・グローバル化改革関連)

【視点 健康・体力の保持・増進】

- 平成28年度、学校アンケートにおける「給食後にきちんと歯みがきをしていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、全国体力・運動能力、運動習慣調査における「20mシャトルラン（持久力）」の平均記録を全国平均以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、学校アンケートにおける「9時までに寝ていますか（1～3年）」「10時までに寝ていますか（4～6年）」の項目について「はい」と答える児童の割合を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成28年度、学校アンケートにおける「自分のことが好きですか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、学校アンケートにおける「あなたは、友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 学校・地域の連携】

- 平成28年度、学校教育に関わる取組への家庭・地域の参加者数を、年間400人以上にする。
(ガバナンス改革関連)
- 平成28年度、学校から発信する情報を充実させ、取組内容の認知度を90%以上にする。
(保護者アンケートにより検証する)
(ガバナンス改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 全国学力・学習状況調査において無回答率の児童を 10 %以内にする。
(カリキュラム改革関連)
- 各単元テストの正答率を 80 %以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートで「あなたは学校の復習をしていますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を 80 %以上にする。
(カリキュラム改革関連・グローバル化改革関連)

【視点 健康・体力の保持・増進】

- 学校アンケートにおける「給食後にきちんと歯みがきをしていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を 90 %以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における「20m シャトルラン (持久力)」の平均記録を全国平均以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「9時までに寝ていますか (1~3年)」「10時までに寝ていますか (4~6年)」の項目について「はい」と答える児童の割合を 70 %以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を 80 %以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「あなたは、友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を 80 %以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を 90 %以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 学校・地域の連携】

- 学校教育に関わる取組への家庭・地域の参加者数を、年間 400 人以上にする。
(ガバナンス改革関連)
- 学校から発信する情報を充実させ、取組内容の認知度を 90 %以上にする。
(保護者アンケートにより検証する)
(ガバナンス改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立十三小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学力の向上】	
① 平成 28 年度、全国学力・学習状況調査において無回答率の児童を 10 %以内にする。 (カリキュラム改革関連)	
② 各単元テストの正答率を 80 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)	
③ 学校アンケートで「あなたは学校の復習をしていますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を 80 %以上にする。 (カリキュラム改革関連・グローバル化改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【区分 基礎・基本の定着】 基礎的・基本的な内容を確実に定着させるために、3～6年生の国語と算数における習熟度別指導を充実させる。	
指標 ①習熟度別指導を年間 900 時間以上実施する。	
取組内容②【区分 授業研究を伴う校内研究の充実】 国語科の研究や研修を通して、児童の読む力を育てる。	
指標 ①全学級が国語科の協働的な学習を取り入れた授業研究を年1回以上実施する。 ②国語科が「楽しい」と答える児童を 80 %以上にする。	
取組内容③【区分 言語力や論理的思考能力の育成】 各教科や領域指導において、コミュニケーションの育成を図る言語活動を取り入れた授業を行う。	
指標 各教科・領域指導において、ペア交流やグループ交流・全体交流などコミュニケーションの育成を図る言語活動を取り入れた授業を1日に2回以上行う。	
取組内容④【区分 学習習慣の確立】 全学年で毎日課題を提供し、学習習慣の定着をはかる。	
指標 ①課題の提出率を 85 %以上にする。 ②漢字検定の合格率を 70 %以上にする。 ③1日 10 分以上、週 5 日以上、読書をする児童を 70 %以上にする。	
取組内容⑤【区分 I C T を活用した教育の推進】 各教科や領域指導に I C T を活用し、授業を行う。	
指標 各教科や領域指導で I C T を活用した授業を週 2 回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

今後の改善点

大阪市立十三小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持・増進】</p> <p>① 学校アンケートにおける「給食後にきちんと歯みがきをしていますか。」の項目について「はい」と答える児童の割合を 90 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣調査における「20mシャトルラン（持久力）」の平均記録を全国平均以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 学校アンケートにおける「9時までに寝ていますか（1～3年）」「10時までに寝ていますか（4～6年）」の項目について「はい」と答える児童の割合を 70 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【区分 健康な生活習慣の確立】 生活目標や健康週間、保健指導や学級指導等を計画・実施し、「給食後のはみがき」の習慣を身につけさせる。	
指標 健康週間を学期に1回設定し、学期ごとに「給食後のはみがき」の達成状況をグラフ化する。	
取組内容②【区分 体育的活動の充実】 外遊びやなわとび運動、かけ足運動を推進し、体力向上への意識を高める。	
指標 ① 2, 3学期に「なわとびチャレンジ週間」を実施し、「なわとび3級」以上の児童を80 %以上にする。 ② 1日1回以上、外遊びに取り組む児童を80 %以上にする。 ③ 月に1回「かけ足タイム」を実施し、走る運動に取り組ませる。	
取組内容③【区分 睡眠】 健康週間、保健指導や学級指導等を計画・実施し、「早寝・早起き」の習慣を身につけさせる。	
指標 健康週間を学期に1回設定し、学期ごとに「早寝・早起き」の達成状況をグラフ化する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

今後の改善点

大阪市立十三小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>① 学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を 80 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 学校アンケートにおける「あなたは、友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を 80 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を 90 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>自尊感情を高めるとともに、互いを認め合う態度を育てることができるよう、年間計画に基づいて人権教育を実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>① 月 1 回以上、なかよし班活動や児童集会などの異学年交流を図り、互いに理解し学び合う機会を設定する。</p> <p>② 各種名人を様々な分野で設定し、児童みんなで認め合う場を設ける。</p>	
<p>取組内容②【区分 特別支援教育の充実】</p> <p>「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」を作成し、それらに基づく指導を実施するとともに、特別支援を要する児童と周りの児童がともに活動・交流する機会を増やす取組を実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>① 特別支援を要する児童と周りの児童が、ともに活動・交流しながら理解し学び合う機会を毎月実施する。</p> <p>② 保護者や医療機関、子ども相談センター等との連携を月 1 回以上実施する。</p>	
<p>取組内容③【区分 道徳教育の推進】</p> <p>道徳の時間を要として、各教科・領域で話合いやグループ活動等で、相互理解・共感を広げる取組を行うことにより、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする子どもを育成する。</p>	
<p>指標</p> <p>① 年間指導計画に基づいて学習指導要領に示されている全ての項目を指導する。</p> <p>② 全学年が道徳の授業を、年 1 回授業参観で実施する。</p> <p>③ 年 2 回「親切・思いやり」週間を実施し、自分自身を振り返る活動を行う。</p>	
<p>取組内容④【区分 基本的生活習慣の定着】</p> <p>学校のきまりを守ることについて生活目標を設定し、日常的に繰り返し指導する。</p>	
<p>指標</p> <p>① 毎週、生活目標についてアンケートを実施し、達成状況を確認する。</p> <p>② チャイムの合図を守る児童を 80 %以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

今後の改善点

大阪市立十三小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学校・地域の連携】</p> <p>① 学校教育に関わる取り組みへの家庭・地域の参加者数を、年間 400 人以上にする。 (ガバナンス改革関連)</p> <p>② 学校から発信する情報を充実させ、取組内容の認知度を 90 %以上にする。 (保護者アンケートにより検証する)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 学校・家庭・地域の連携の推進】</p> <p>学校行事や教科・領域指導・読み聞かせ・放課後ステップアップ教室・見守り隊活動・交通安全指導・防犯・防災訓練などの取組への家庭・地域の参加を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>①学校行事への参加を促すため、手紙やホームページなどで月 2 回以上参加を呼び掛ける。</p> <p>②学校協議会の年間の傍聴者数を 5 人以上にする。</p>	
<p>取組内容②【区分 情報発信】</p> <p>学校だより・学校ホームページを通して情報を発信し、学校の取組に対する情報の共有を推進する。</p>	
<p>指標</p> <p>① 情報の共有を図るため、学校ホームページを週 2 回以上更新する。</p> <p>② 学校ホームページの年間アクセス数を 15000 以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
今後の改善点

H.28 地域との活動 年間計画

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
4月	入学式						
		見守り隊・スクールレンジャー隊の方々との対面式					
5月		町たんけん	町たんけん				
6月			ふれあい農園 (いも苗植え)				
			十三干潟で遊ぼう				
7月		民謡（盆踊り）練習					
8月		プール開放・図書館開放					
9月		敬老の日のお手紙					
		運動会					
10月		交通安全指導（集団歩行）					
		土曜参観（防災学習デー）					
11月		地域ふれあい清掃					
		90周年記念式典					
12月			絵手紙教室				
1月	車いすの方のお話	車いす 体験	書道教室 高齢者 体験	視覚障がい者 の方のお話 茶道教室	認知症サポー ター養成講座		
	聴導犬						
2月		七輪体験			ゆかいな 中国講座		
3月		見守り感謝の会				卒業式	